

菜の花通信

第 1 号

平成22年3月23日
発行 (株) 菜の花
TEL 47-3147



防災訓練



ごあいさつ

代表取締役管理者

金子 ミヨ子

おかげさまで一周年を迎えることができましたことは五泉市をはじめ、関係機関並びに地域の皆様の心温まるご指導、ご協力の賜と心より厚く御礼申し上げます。又、今年、猿和田郵便局より車椅子贈呈をしていただいたことで地域の皆様に支えられているものと感謝でいっぱいです。

菜の花は毎朝電車の音に起こされ一日のスタートが始まります。春から秋にかけてSLが汽笛を鳴らしていく列車に手をふり、列車の窓からも手を振っていただく姿が何ともほのぼのとした光景が見られます。

今まで在宅介護で大変になってくるとつい、特養施設の入所を考えることが自然なことのように考えてしまいがちでしたが、今までになかった小規模多機能の良さを生かし、一人ひとりの「必要」をマネジメントし、地域の中でこれまでの暮らしそのものを支えるために、あらゆる資源を活用しながらお年寄りのその人らしさに合わせ、今ある自分を継続できる生活の実現に向けたライフサポートワーク、まず「やってみよう」を合言葉に取り組んでおります。又のびのびと仕事ができる環境づくりにも力を入れております。どんな障がいや認知症の進行があってもお年寄り、家族を支えることで、最後まで尊厳のある生活ができる支援こそ、高齢者が望んでいる姿だと思っております。

自己実現に向けたサービスを整えるには、まだまだ不十分ではありますが、誰にでも訪れる高齢化、家族と共に生活ができる支援を目指し、認知症を隔離する時代から地域や社会で認知症を支える時代となった今日、日常生活にあたたかい菜の花の風を送ってあげられるような関わりで小規模ならではのサービスを充分発揮しながら最後まで家族とともに過ごせるような支援をしていきたいと思っております。



ご利用者家族 樋口 あや子
 介護施設「菜の花」の皆様、開所1周年おめでとうございます。
 我が家の祖母がお世話になってから、早くも4ヶ月となりました。家族の手では行き届かないところのご配慮頂き、大変ありがたく思っています。祖母は、もともと人と接することが好きな性格であったため、多くの人と触れ合うことが出来、また様々な行事がある施設での日々を、大変楽しんでいるようです。
 また、祖母だけでなく私たち家族も介護の負担が減り、仕事に家事にとそれぞれ専念することができています。これもひとえに施設の皆様のおかげです。
 体力・気力ともに必要となる、大変なお仕事だと思います。皆様お体に気をつけて、日々のお仕事をこなして下さい。これからもどうぞよろしくお願い致します。



川東地区芸能発表会 かわいいね、上手だね！



リンゴを持って、ハイチーズ



秋の紅葉見学



ご自宅訪問



リンゴでニッコ！

◎菜の花の一年間の行事です
私達が、お手伝いさせていただきます



クリスマス！

スタッフ



お姫様みたい～



鬼は外、福は内

ご利用者家族 斎藤 トイ子
 日頃、主人が「菜の花」の職員の方々に大変お世話になり心より感謝いたします。
 我が家は、主人と私の二人で老老介護の世帯であり、開所当初から、菜の花を利用させていただいています。
 以前は、通所介護（デイサービス）を利用していましたが、主人の不満や苛立ちや利用拒否が続いており、これから先の事が不安で思い悩んでいました。その頃、私自身の体の不調や精神的な負担はかなりの大きいものでした。現在まで主人だけでなく私も職員の皆さんに支えていただきながら過ごしてきました。主人への様々な不安に対しても「大丈夫ですよ。お母さん」と所長さんが安心させてくださいます。また、職員の皆さんが「困った事があったらいつでも声をかけてください」と、気配りしてくださることをありがたく思います。
 主人は、今毎日菜の花を利用させていただきながら生活をしています。「お父さんだいたい慣れましたから大丈夫ですよ」という言葉にほっとしています。帰宅後主人が「よかった」と話したりして穏やかな表情も見られるようになりました。今まで服用していた就寝薬が不要になったことは、大きな喜びです。
 私自身体調を崩してしまうことが多くなってしまい、その度に不安になりますが、できる限り在宅で夫婦一緒に過ごしたいと願っています。その願いに対していろいろな場で助けていただいていることを感謝します。
 小規模多機能型居宅介護「菜の花」は老老介護の我が家にとっては、心のよりどころとなっています。これからも多くのご苦勞をおかけしますが、よろしくお願い致します。



ほたんの花をバックに！



ほたん園



水芭蕉公園

開所当初より務めさせていただき、毎日ご利用者様の「おはよう」の声から始まり、体温・血圧測定をし、表情や会話でその日の体調を把握させていただいておりますが、毎日同じ体調とも限りません。その為状態に応じて受診介助を行い、医師との連携、ご家族との連携をとり、その日の時に合った処置や対応を行っております。
 また、定期的なリハビリ指導を受け、その人らしい生活が継続できるような機能改善や機能維持を保つため、個々に合ったリハビリも行っていきます。体調が思わしくないと笑顔も出ませんが、小さなことでも耳を傾け、見逃さない様にし、いつまでもご利用者様の笑顔が続きますよう、健康管理をさせていただきますと思っております。又、いつも皆様の「ありがとう」の言葉に感謝しております。

看護師 藤巻 ゆかり



七夕の飾り、きれいだね

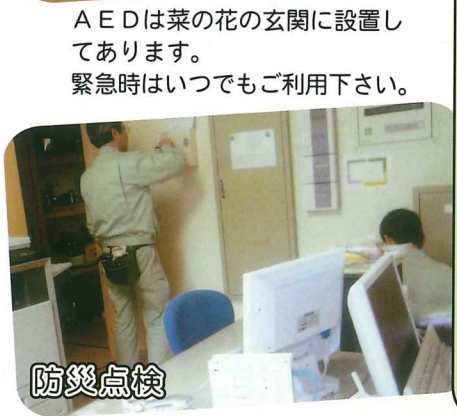


わあーい、SLだね～！

介護主任 熊倉 美奈子
 「菜の花」がスタートして1年、地域の中で外出を沢山行いました。春には桜や水芭蕉、園芸センター、ほたん園と数多く外出の機会を得ることができました。秋にはりんご狩りや地域の防災訓練に参加し、普段見られないヘリコプターやバスを近くで見ることができ、お客様の生き生きとした姿や言葉を聞くことができました。
 ご自宅の訪問では、「今日あなたが来たんだね」と、安心して任せていただける介護ができています。又、ご家族の入院で寂しい思いをされている姿から、一緒にお見舞いをさせていただき、「頑張りなう」「そだね」と、回を重ねることで、家族を見舞う役割を得ることで、安心して過ごせる小規模ならではのサービス、まだまだ未熟ではありますが、ご利用者様の思いに近づけるよう楽しみや、生きがいを見つけてあげられる介護を目指したいと思っております。



大切な人への 思いやり… 笑顔満開



運営推進委員 土橋 信男

私は地元猿和田町内会代表として、昨年春の菜の花の開所から他の委員の方々と共に運営推進委員として参加させていただいております。お話を伺っておりますと介護保険制度の制約の中でいかにして利用者の要望にこたえて行くべきか非常に苦心されているかを実感しております。市の担当の方及び包括支援センターのお二人も出席され、菜の花の利用者側代表の委員のそれぞれの立場から意見交換をし、問題点を話し合っておりますが制度上このギャップがあるようです。

その中で菜の花は、小規模多機能の特徴を最大限に発揮し、たとえば食事の面では、できる限りお客様の好き嫌いを考慮し個別のメニューで提供されるなど画一的でない独自のきめ細かなサービスに努めておられます。とくに所員こそって献身的な温かい思いやりの介護に一生懸命頑張っておられます。これからも増え続ける地域介護の拠点として貢献されるよう期待し、安心してお任せできる菜の花のご利用を大いにお勧めいたします。

運営推進委員 笠原 繁作

おめでとございます。

月日の流れは早いもので、菜の花が開所して以来大過なく一年が終わり、二年目を迎える事が出来ました事は、この様な良い環境に恵まれた地元猿和田町内会の皆様方をはじめ幾多団体各位の理解ある御協力の賜物と、我々利用者一同心から厚く御礼を申し上げます。

これも言うまでもなく管理責任者である金子さんをはじめ介護支援専門員さんを中心とした職員一同が理解があり、協力があればこそ「菜の花」と言う施設に恥じない綺麗な花を咲かせながら、二年目を迎える事の出来る事は、利用者にとって本当にありがたいの一言でございます。

介護と言う言葉は、簡単に出来る言葉ではあるけれども介護職と言う仕事は本当に難しい数多くの問題を抱える大変な仕事であり、介護を受け様とする人と現在介護職員の世話になっている人と一緒に長年の生活経験のない多くの皆様に理解出来ない難しい問題ではないかと、私は考えてなりません。人間は若くとも何時にどこでどんな病気に襲われたいとは限らないかと思えます。

人間は誰しも大なり小なり自分の体力に適した仕事をする事は、生きている人間の役目だとが、

健康のためだとか言うなら、家のため、子どものためと言う立派な格言の下に働き続けてきた高齢者の皆様に数多く見られる老人病ではないかと、私は思われてなりません。

心身ともに自由の効かない老人たる皆様の世話をする職員の方々は、常日頃、利用者・家族一同心から感謝申し上げます。

連日の悪天候にも負けず、朝早くから「おはようございます。菜の花ですお迎えにまいりました」と、言う元気な声を聞くと、今日も一日大丈夫だなあと言う気持ちになります。夕方は「ただいま帰りました。菜の花です」と言う元気な言葉が家族に与える最高の安心感と、心温まる一言で、帰りが遅くても、その日一日の出来事を家族に細かく説明し終えてから「ありがとございました。又、よろしくお願いたします」と言い残して帰る職員の後姿を見送るとき、利用者が安心して一日を過ごさせて貰うことが本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。

心身ともに不自由な利用者の送迎は多少の時間にこだわる事なく安全運転を心がけ、一日いちにち笑顔で過ごされる事を利用者・家族一同心からお願ひ申し上げます。

二年目を迎える「菜の花」の益々のご繁栄と職員御一同の益々のご健康をお祈り申し上げます。

AEDは菜の花の玄関に設置してあります。
緊急時はいつでもご利用下さい。